

2023年(令和5年)4月

# OPEN!

# そらち 自然学校

## 募集 森あそびサポーター

### 森あそびサポーターって?

ほろしんの森は『子どもから大人まで集い、自然の中であそべる場所』を目指しています。『森あそびサポーター』はそんな場を自由に使い、森をともに作り、ともにあそぶメンバーです。

参加すると、ほろしんの森の道具を使って森で遊んだり、森づくりに参加することができます! たき火を囲んでゆっくり過ごす、木工クラフトに熱中する、ひたすら薪を割るなど、皆さんの「やりたい!」を実現させることができます。

**注意事項** ○登録料は無料です。 ○活動時はご自身の保険加入を勧めております ○メールはBCCにて送信いたします  
○ご家族の場合は代表者1名の登録で大丈夫です

**お申込み** 下記の「沼田町まるごと自然体験プロジェクト」までお申込みください。その際、お名前(ふりがな)、生年月日、住所、電話番号、メールアドレスを忘れずにお書き添えください。

## ほろしんの森・そらち自然学校

沼田町市街地から

10min  
20min

### お問い合わせ

沼田町まるごと自然体験プロジェクト  
(沼田町役場 産業創出課)

☎ 0164-35-2155 (担当: 大原・富田・大竹・高橋・笠田)

✉ numatashizen@gmail.com

🌐 www.facebook.com/hokkaidonumatanature

沼田町まるごと自然体験プロジェクト

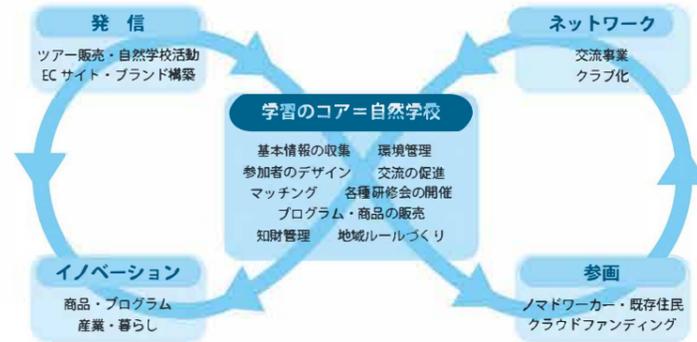
Numata-Town

札幌から  
80min  
120min



# そらち自然学校は

ほろしんの森の森づくりを舞台に、ノマドワーカーやワーケーションを通じて町外の人を呼び込み、さまざまな自然体験などの事業を通じて町内の人との交流を生み出し、そこから「新しい価値」を創出する活動、「ノマドビレッジ」を目指しています。



## ノマドビレッジの仕組み

そらち自然学校は、学習のコアとなるコーディネート組織の役割を持ちます。また、この森づくりで生まれる地域資源を活用する参画者(ノマドワーカー)の募集を行うために、地域情報の発信や参加のデザインを行います。次の段階では、ノマドワーカーと地域住民、の交流を促し地域と触れ合い、そこから学びが生まれるマッチングをしていきます。その中で生まれたプログラムや商品などを販売し、知財の管理し、さらに地域外に発信することで新たな参画が生まれるのです。そらち自然学校は、こうしたサイクルを維持・管理します。

## 沼田発、イノベーション

ノマドワーカーと沼田町、どんなイノベーションが生まれるのか？ 一例をご紹介します！

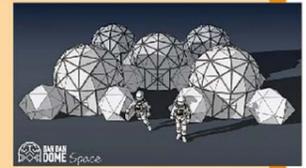
### 有休草地 × 農産加工品残渣 × 畜産 沼田トマト羊の生産と町民参加による育成事業

有休草地を活用し、沼田の特産品であるトマトジュースの残渣を餌にし、沼田トマト羊の生産と育成を行う。また、一部育成は町民にもお願いをし、ブランド力を高める。販売拠点を創る。



### 豪雪 × 森づくり × 有休施設 × 建築 寒冷地、雪対応ダンボールドーム制作

リサイクル率95%のダンボールを活用してエコなイベントドームの雪の耐久、積雪地帯の利用を調査、研究を行い、北海道の生産販売拠点を創る。



## ほろしんの森のプログラム

ほろしんの森を舞台に生まれるプログラムは、たとえばこんな感じ！

いつでも・だれでもできる！

### ★ 森に行きたくなるスプーン作り

森の整備で出てくる木の小枝。なかなか良い使い道がなく、捨てられたいが放置されてしまうことが多い素材です。そんな木の小枝を使って、スプーンを作ってみませんか？ 幼児をはじめ、どなたでも簡単に「使えるスプーン」を手にすることができます。



所要時間：1時間  
定員 最大20人  
内容 小枝の断面に穴を開け、そこにステンレスのスプーンを差し込み、固定します。  
金額 2,000円(税抜) ※新割りりを1時間やってくれたら500円引き！

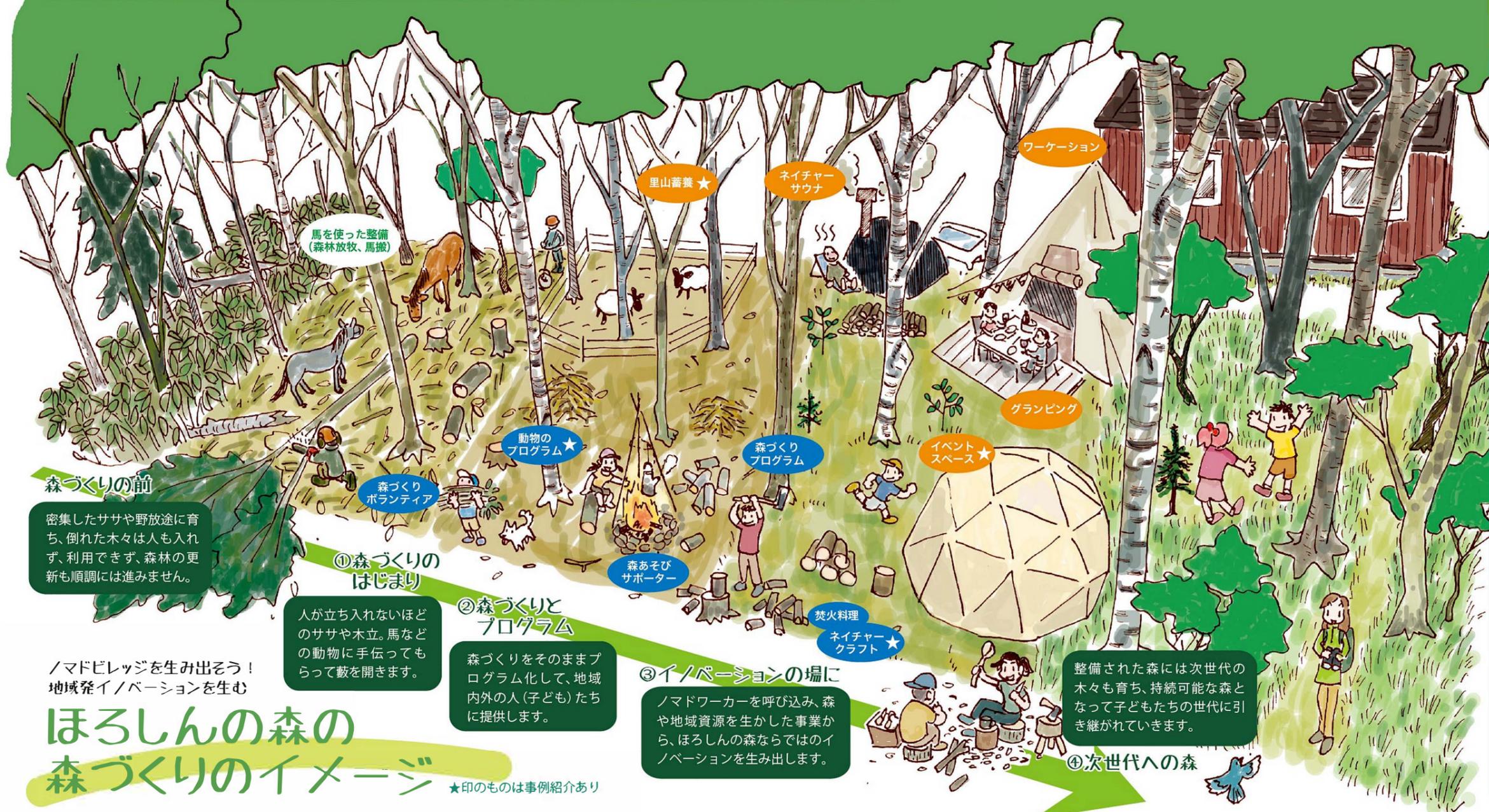
### 命をいただく半日プログラム

#### ★ 謝肉祭

春から夏にかけて、ほろしんの森の下草を食べてくれた羊たちを、ありがたく羊肉としていただきます。熱源は、もちろんほろしんの木で作った薪。一片の肉も、骨も無駄にせず全てを頂戴する貴重な1日です。



所要時間：5時間(10~15時)  
内容 飼育した羊肉を使った料理作り体験と試食  
金額：10,000円(税抜) 定員：10名



### 森づくりの前

密集したササや野放途に育ち、倒れた木々は人も入れず、利用できず、森林の更新も順調には進みません。

ノマドビレッジを生み出そう！ 地域発イノベーションを生む

## ほろしんの森の森づくりのイメージ

★印のものは事例紹介あり

①森づくりの始まり  
人が立ち入れないほどのササや木立。馬などの動物に手伝ってもらって敷を開きます。

②森づくりとプログラム  
森づくりをそのままプログラム化して、地域内外の人(子ども)たちに提供します。

③イノベーションの場に  
ノマドワーカーを呼び込み、森や地域資源を生かした事業から、ほろしんの森ならではのイノベーションを生み出します。

整備された森には次世代の木々も育ち、持続可能な森となって子どもたちの世代に引き継がれていきます。

### ④次世代への森